

令和7年度第1回米原市自治基本条例推進委員会 会議録（要点筆記）

会 議 名	令和7年度第1回米原市条例推進委員会
開 催 日 時	令和7年5月26日（月）午後6時～午後8時
開 催 場 所	米原市役所本庁舎 会議室4-A
出席者および欠席者	出席者 委 員：大橋松行会長、上田洋平副会長、植田淳平委員、岡田友美委員、北澤あさこ委員、草野丈太委員、清水元幾委員、高橋滝治郎委員、東野孝委員、福永ひろみ委員、松居悟委員（欠席：山田輝子委員） 事務局：宮川副市長、川瀬政策推進部長 政策推進部政策推進課：村口課長、萬木課長補佐、田野主幹、鈴木主任 (株)サンワコン：藤原、長谷川、鹿内
議 題	（1）米原市自治基本条例推進委員会の運営について （2）第3次米原市総合計画の策定について 1）第3次米原市総合計画策定方針について 2）第2次米原市総合計画の検証について 3）社会情勢の変化、現状・課題の整理
結 論	（1）米原市自治基本条例推進委員会の運営について ・資料1に記載している事項に則って進めていく。 （2）第3次米原市総合計画の策定について 1）第3次米原市総合計画策定方針について 【転出・転入アンケートの検討】 ・市民アンケート調査とは別に、転出・転入者アンケートの実施を検討する。 【市民アンケート調査の目標回収率】 ・対象者2,000人のうち、4割の回収率を目標とする。 2）第2次米原市総合計画の検証について 【目標指標の検討】 ・米原市の総人口は、10年前の推計結果よりも厳しい減少傾向となっているため、現在の目標がまちの維持や活性化につながる適切なものであったかの検証が必要。 ・委員会中では基本構想や基本計画の内容を中心に議論を行うが、K G I やK P I の設定についても委員にご意見をいただきながら設定する。 3）社会情勢の変化、現状・課題の整理 ・引き続き、社会情勢等の整理、米原市の現況、課題の整理作業を進める。

審 議 経 過	1 市長あいさつ（代理：副市長） 2 委嘱状交付 3 推進委員会委員および事務局の自己紹介 4 米原市自治基本条例推進委員会の運営について（※資料1に基づき事務局から説明） ・質疑なし 5 米原市自治基本条例推進委員会の運営について 6 会長および副会長の選出 7 諮問 8 第3次米原市総合計画の策定について 1）第3次米原市総合計画策定方針について（※資料2に基づき事務局から説明） 【転出・転入アンケートの検討】
委員	・住民各層の生の声をアンケート調査で聞くということであるが、可能であれば、市民の声だけでなく、外から米原市はどの様に見えるのかが気になる。 ・移住された方へのアンケート、外からどう見えているのか、移住してどのように感じているか、今後どうなって欲しいのか、外から来た人が米原市をどのように見ているのかということがあれば、参考になるのではないだろうか。
事務局	・非常に大事な視点であり、過去に転出入の方からとったアンケートがあり、市民アンケート調査ではそれを参考にして設問を設定している。 ・どういった方法で実施するかは今後の検討課題であるが、そういった視点を持ってやっていきたい。
委員	・手法など難しい面はあると思うが、外に出ていく転出の方について、そのきっかけは仕事なのか、進学なのか、なぜ米原市に住み続けられないのか、その理由を分析できればと思う。
事務局	・以前、転出時のアンケートをしたことはあったが、短いアンケートだったこともあり、詳細な分析にまで至っていない。検討したい。 【市民アンケート調査の目標回収率】
委員	・アンケートは2,000人を対象とするとのことだが、どこまで返ってくると見ているのか。
事務局	・米原市の過去の調査では、6割を超える回答者がおり、高い回収率になっているが、今回は4割と見ている。抽出数の2,000人という数は、かなり多い。
事務局	・一般的な社会調査についていえば、35,000人の母数であれば1,000人の抽出で良いと考えられる。 ・米原市は高い回答率という特徴はあるが、この社会情勢ではさすがに厳しいと考

委員 事務局	えている。他の自治体では4割の達成が難しいところも多くある中で、今回は2,000人の4割を確実にキープしたいと考えている。 【定住意向に関する設問の問い方】 ・質問として、どういう聞き方をしているのかが気になる。 ・例えば定住意向について、どう思いますかという聞き方なのか。誘導になっていては良くないと思う。
事務局	・「3. 定住意向について」を例にすると、設問として「あなたはこれからも米原市に住みたいと思いますか」となっており、選択肢として「1. これからも住みたい 2. 当分の間住みたい 3. 機会があれば市外に出たい 4. 今すぐにも市外に出たい 5. わからない」が設けられている。 【Well-being指標に関する設問の問い方】
委員 事務局	・Well-being（ウェルビーイング）指標についてはどう尋ねているのか。 ・国の標準指標に基づいて設問を設定している。 ・書き方としては「あなたの地域は」というのを「米原市は」に置き換えており、具体例としては、「現在、米原市の暮らしにどの程度満足していますか」とか、細かい項目としては「米原市には心地のよい場所がある」、「米原市は適度な費用で住居を確保できる」、「米原市には女性が活躍しやすい雰囲気がある」という聞き方になっており、国のシステムに登録して比較できるような形で設問を設定している。
委員 事務局	2）第2次米原市総合計画の検証について（※資料3に基づき事務局から説明） 【目標指標の検討①】 ・この第2次総合計画の中には、人口目標の数値は入っていないのか。冒頭で副市長から人口が激減しているという話があったが、目標値と乖離していないのか。 ・人口の目標値は総合戦略の人口ビジョンの方に記載されている。 ・具体的に数値が出ているのは、2040年目標が35,929人、2060年目標が32,831人と、どうしても減少することになっている。2025年の推計値をグラフから読み取ると、社人研推計が約36,000人、米原市のボトムシナリオで約38,000人程度になっている。 ・現状は人口ビジョンよりも厳しい減少の推移となっている。
委員 事務局	・まちを維持していくために、人口維持が必要なのであれば、10年前に設定した目標が人口減少や少子化の解消につながる目標となっているのかを検証する必要がある。 ・今しなければならないのは、このまちを維持していくために10年前の目標で正しかったのか、そして、これから策定する第3次計画の目標として有効な目標を立てて行く必要がある。 ・ぜひ、目標として適切な指標が設定されているかの振り返りをお願いしたい。 ・目標指標は全面的に見直していく必要があると考えている。

委員	【米原市が人口減少対策として実施してきたこと】 ・人口は減少していくというのが大前提だと思うが、今まで何か人口減少の抑制につながる有効な施策などはあったのか。 ・米原市としても人口減少対策を実施してきたと認識している。 ・具体的には移住定住政策、空き家対策、市のプロモーションサイトの活用や、都市計画の方でも対応をしている。 ・社人研の推計値の36,000人を考えると、踏みとどまっているのかと思う部分もあるが、この先、対策が出尽くしたところで持ちこたえることができるのか、決して楽観視はできない。 【目標指標の検討②】 ・計画が細かく目標設定をして進めていたということを知って驚いた。 ・この会議での作業内容を知りたい。今上がっている基本目標の1～6を検討することになるのか。福祉から都市計画まで多岐にわたるが、細かく詳細な目標設定を考えるのか。会議ではどこまでが検討され、何が決まっていくのか。 ・大事な部分だと思う。限られた会議時間の中では、基本目標やその上にある基本構想の内容などの大きな柱についての議論がメインになる。 ・K P Iについても、委員会の議論を経て、決めて行くということになる。 ・事務局が一方的に定めるものではなく、議題についても皆様からご意見を頂きたい。 ・数値目標の達成状況でC評価が1/3以上あったが、これは背伸びした無理な数値目標を設定したからではないかと思う。 ・139 指標あるが、多くのものに現状と目標に乖離があり、設定ミスと言っても良いと思う。現状把握がしっかりできていなかった結果だと思う。 ・次につなげるためにも、139 項目を不要、必要に分けて、目標設定は現状を踏まえてしっかりと設定する必要がある。現状ではあまりにも乖離が大きい。 ・大変言いにくいですが、目標が未達であっても、きつい目標を立てていても人口減少等に対処できていない。市の50年後、100年後の存亡がかかっている大事な時期である。 ・私からの提言であるが、この会議はきつい目標を立てて、具体的な解決に至るような会議にしてもらいたい。 ・民間事業者は、雇用維持や労働力確保が大きな課題になる。地域に大きなビジョンがあり、人口を維持し活性化していこうという方針がなければ、ここで仕事をして行くことができず、地域を離れるきっかけになってしまう。ぜひ、きつい目標を立てて、必ず達成する、そのために真剣な議論をしたい。 ・厳しいと同時に心強いと感じた。いただいた意見を踏まえてしっかり検討していきたい。 3) 社会情勢の変化、現状・課題の整理（※資料4に基づき事務局から説明）	
事務局		
委員		
事務局		
会長		
委員		
事務局		

事務局	・質疑なし 9 その他 ・次回委員会は6月下旬もしくは7月上旬を予定しており、場所は今回と同様、米原市役所本庁舎で開催したい。 ・後日、日程調整の連絡をさせていただく。 10 閉会
会議の公開・非公開の別	☒公開 傍聴者：0人 ☐一部公開 ☐非公開 一部公開または非公開とした理由 ()
会議録の開示・非開示の別	☒開示 ☐一部開示（根拠法令等：) ☐非開示（根拠法令等：)
全部記録の有無	会議の全部記録 ☒有 ☐無 録音テープ記録 ☒有 ☐無
担 当 課	政策推進部 政策推進課